

学習指導案（教科：漢文）

1 授業内容

科目：漢文

単元：刻舟求劍（舟に刻みて劍を求む）

2 本時の指導計画と評価方法

(1) 単元の目標：

- ・ 中国文化に触れることで古典に親しむ。（関心・意欲・態度）
- ・ 文章に現れた中国人の考え方を的確に読みとり、要約する。（読む能力）
- ・ 「寓話」の生まれた時代背景を理解する。（読む能力）
- ・ 漢文の訓読法、文の構造、語句の意味を理解する。（知識・理解）

(2) 本時の目標：

書き下し文を声に出して読み、辞書機能を使って単語の意味を確認し、故事の内容を理解する。

(3) 本時の評価基準

故事の内容を的確に読み取り、要約している。（読む能力）

漢文の訓読法、文の構造、語句の意味を理解している。（知識・理解）

(4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・評価
導入（10分）	<ul style="list-style-type: none">・ 前時の内容の復習をする。・ 本時の目標、学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none">・ 本文を繰り返し音読する。	<ul style="list-style-type: none">・ ノートに前時の内容が記入されているか。・ 音読に積極的に取り組んでいるか。（関心・意欲・態度）

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開（30分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文を現代語訳する。 ・ 本文の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。 →辞書機能を使用し、単語を正しく理解する。現代の意味との違いを理解する。[ICT 活用] ・ 本文をたとえ話と筆者の主題の部分とに分け、それぞれの内容をノートにまとめる。 →たとえ話の部分で、楚人の行為がなぜ愚かなのかを考えさせながら、ノートにまとめさせる。 →筆者の主張の部分で、古い規範や法律で国を収めることがなぜ難しいのかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の書き下し・現代語訳を正しく行っている。（知識・理解） ・ たとえ話の内容と筆者の主張を、それぞれ正しく読み取っている。（読む能力）
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ（10分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体をまとめ、「刻舟求剣」の故事成語の意味を考える。 ・ 次時の予告をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「刻舟求剣」の故事成語の意味を参考にしながら、本文の主題を考える。 →主張が、時勢の変化に対応できず古いものにしがみつく愚かさを批判していることに気づかせる。 →この話の根底には、法家の立場からの儒家批判が込められていることを理解させる。 ・ 寓話が単なる物語ではなく、明確な主張を持って、読者を説得しようとしていることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 故事成語の現代における意味・用法を意識しながら本文を読み取っている。（読む能力） ・ 時代と思想内容との関連性に気づいている。（知識）

(5)ICT 活用計画

主に ICT を活用するのは、展開の最初の部分「→辞書機能を使用し、単語を正しく理解する。現代の意味との違いを理解する。[ICT 活用]」である。

手順

- ①教員は、「刻舟求劍」の訓読文を盛り込んだワークシートを作成、生徒へ配布する。(生徒配布機能を使用)
- ②ワークシートには、予め辞書機能で調べて欲しい単語をピックアップし(ワークシートへ落とし込み)生徒へ周知する。(生徒配布機能を使用)
- ③生徒は、語彙を調べ、正確に現代語訳する。
(④時間に余裕があれば、近くの生徒同士で話し合いの場を作る。)

※生徒には、辞書機能で手軽に単語の語彙が調べられることを知ってもらう。